

## 『東京新聞記事に関するご報告』

平成 27 年 4 月 30 日  
参議院議員 有村治子事務所

平成 27 年 4 月 25 日(土)の東京新聞朝刊「こちら特報部」に掲載された、沢田千秋記者署名記事について、事実に基づかない記述があり、事実をご報告いたします。

1. 現在、内閣府で行われている「暮らしの質」向上検討会では、防災や防犯、安全性の観点等に基づいて様々な施策が議論されていますが、記事が指摘するようなトイレ掃除精神論についての言及は一切なされていません。
2. 記事本文で、有識者会議に衛生施設のメーカーが加わっていることを問題視する記述がありますが、事実誤認であり、明らかに誤報です。「暮らしの質」向上検討会有識者のメンバーに衛生施設メーカーの関係者はいません。
3. 「暮らしの質」向上検討会は、生活実感に定評のある有識者で構成されています。トイレに関する施策の議論ばかりではなく、DV 被害者等への情報提供のあり方やマタニティ・ハラスメントの防止策等、日々の暮らしの質を向上させるために必要な議論が多面的になされており、記事で「他に優先すべき課題があるのでは」と揶揄されるような事態は生じていません。

なお、「暮らしの質」向上検討会は、毎回「報道関係者にフルオープン」で開催されており、当然ながら東京新聞にも門戸は開放されています。毎回熱心に取材されている新聞社・通信社の記者の方が、検討会についての記事を書かれています。今回の東京新聞の記事は事実誤認が多く、大変遺憾です。今後は事実に基づいた記事を書かれることを願います。

以上